

## 第9期平群町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会（第1回）議事概要（案）

日時：令和5年7月24日（金）14:00～16:00

場所：平群町総合文化センターくまがしホール

出席者：松田委員長、川口副委員長、森委員、泉谷委員、山本委員、福田委員、岡委員、東山委員、中田委員、澤田委員、岩崎委員、上野委員、岡田委員、西本委員（高塚委員、秀崎委員欠席）

事務局：住民福祉部 寺口部長

福祉こども課 松本課長、浅井主幹、谷村主任、大森主任

総務部総務防災課 岡田課長

地域包括支援センター 秋葉所長、井学主任

株式会社日本開発研究所三重 庄司

### 議事概要：

#### 1 開会

#### 2 町長あいさつ

介護保険事業計画等策定委員会開催にあたりあいさつ申し上げる。

本日はお暑い中、また、お忙しい中、ご出席いただき感謝申し上げます。本町の福祉行政の推進ならびに介護保険事業の推進にあたり、多岐にわたりご尽力いただき心から感謝とお礼を申し上げます。また、本委員会の委員就任にあたり、快くお引き受けいただきこの場を借り厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、介護を社会全体で支える制度が始まり23年が経過し、本町でも各種サービス等事業所のご尽力もあり、また、介護サービス基盤も充実し、介護保険制度を円滑に運営することができている。加えて、団塊の世代すべてが75歳以上となる2025年問題に向けて、地域特性等に応じた介護基盤整備に向けた地域包括支援システムの強化に引き続き取り組んでいるところである。第8期介護保険事業計画期間より平群町の町独自施策として、デマンド型乗合タクシー運行業務を実証運行してきた。そして、介護予防や閉じこもりの防止、生活拠点支援の観点からも多くの方に好評をいただき、今後においても移動支援の充実が非常に重要であると認識している。これまでの実証運行において得られた知見をもとに、来年度の第9期介護保険事業計画期間から本格運行として実施していきたいと考えている。委員の皆様には、この策定委員会においてご審議賜るよう、よろしく願いしたい。

最後になるが、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、より一層の適正かつ精度の高い計画の策定に尽力をしていただくよう、お願い申し上げます。委員の皆様方の忌憚のないご意見を聞きながら計画策定を進めたいと考えているので、ご指導、ご鞭撻をいただくようお願い申し上げます、開会にあたり、あいさつとさせていただきます。今後、よろしく願い申し上げます。

#### 3 役員選出

事務局より平群町介護保険事業計画等策定委員会設置要綱の説明があった。

選出について、事務局一任との意見が出て了承されたため、事務局より委員長に松田委員、副

委員長として川口委員が推薦され、了承された。

#### 4 議事

(1) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について－概要－ 【資料2】

● 事務局より「資料2」の説明

【質疑】

委員)

最後のスケジュール案について、「令和5年12月～令和6年1月 パブリックコメントの実施」と記載されているが、具体的にどのような方法でパブリックコメントを実施するのか、広報等で募るのか、お聞きしたい。以前、事業計画策定時にパブリックコメントがどれくらいあったのかも参考に聞きたい。

事務局)

パブリックコメントについては、前回第8期の計画策定時と同様にホームページでパブリックコメントを募集する。前回パブリックコメントは0件であった。

委員)

ホームページというのはなかなか高齢者が利用しにくいのではないか。どれだけの方がホームページを見ているのか非常に疑問である。若い人であればホームページを見る機会も多いと思うが、高齢者でパソコン等を使用する方は別だが、あまり町のホームページ等は見ないのではないか。

委員長)

ご意見をいただいたということでよいか。他にいかがか。  
それでは次の議事に進ませていただく。

(2) 調査・アンケート内容について

平群町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【資料3-①】

(対象：一般高齢者、要支援認定者)

ケアマネジャーアンケート 【資料3-②】

平群町在宅介護実態調査 【資料3-③】

(対象：在宅の要介護認定者)

● 事務局より「資料3-①～③」の説明

【質疑】

委員)

【資料3-①】の1枚目のニーズ調査への協力を依頼する文章だが、3行目に第9期と書かれているが見直すのであれば第8期ではないか。

事務局)

ご指摘いただいたとおり第8期である。

委員)

下から4行目に「皆様方におかれましては」とあり、その下から2行目では「利用者様」となっているが、ここも「皆様方」のほうがよいのではないか。「利用者様」と特定しているが意味がよくわからない。

書き方ももう少しわかりやすく書いていただいたほうがよいのではないかと思った箇所がある。上から6行目の「この調査の対象となられる方は、無作為に抽出された町内にお住まいの要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者（在宅で要支援1～2の認定を受けている方を含みます）です。」という書き方よりも、「この調査の対象となられる方は無作為に抽出された町内にお住まいの65歳以上の高齢者です」と先ず書き、その後に括弧書きで「要介護1から5の認定を受けていない方、ただし在宅で要支援1、2の認定を受けている方は該当します」とまとめたほうがよいのではないか。

アンケートの対象者は何人ぐらいを想定しているのか。このアンケートは国の項目に沿って実施するという事だが、集計は業者に委託し丸投げされるのか、読み取りは業者がするのか、町がするのか。これに基づき計画をたてるということなので、この調査は大変大切な調査となる。できるだけ町がしっかりアンケート調査結果の読み取りをし、事業計画をたてていただきたい。

アンケートは何人に配布し何人ぐらいの回収を想定しているのかを教えてください。

事務局)

第9期、第8期の表記についてご指摘いただきありがとうございます。

対象となる方の表記の仕方について、65歳以上ということを先に書き、そして除外した方を括弧書きで書くということだが、ご意見としていただき、内部で検討させていただく。「利用者様」、「皆様方」の表記についても合わせて同じく内部で検討させていただく。

対象者としては、合計2,000名の方を対象として実施する。内訳としては、要介護認定をお持ちでない方を1,600名、要支援認定等をお持ちの方を400名、合わせて2,000名を予定している。

回収の予測だが、前回、3年前に実施した際には65%ほどの回収率であった。今回も大きな変動はないのではないかと予想している。

回収されてきたアンケート結果については、回収、集約、アンケート結果等に表す作業については契約させていただいている支援業者のほうにお願いし、ご報告いただくことになっている。結果については我々町のほうでも当然、検討、吟味していきたい。

### (3) 平群町デマンド型乗合タクシーについて【資料4】

#### ● 事務局より「資料4」の説明

《説明要旨》デマンド型乗合タクシーの利用範囲として、これまで平群町内に限定していたが、多くの要望を頂いていることから、目的地として生駒市にある近畿大学奈良病院への往路のみを対象とすることを検討中。町外の病院として、三郷町にある奈良県西和医療センターも要望を頂いているが、まずは近畿大学奈良病院を検討している。

#### 【質疑】

委員)

デマンドタクシーが始まり、喜んでおられる声もある。前にも少しお話ししたが、夫婦で乗られる場合や娘さんが付き添う等で家族で乗られる場合に、割引等があるとありがたいという声がある。今は2人で乗ると300円と300円で600円かかっているが、それが少しでも割引があればよいという声をよく聞いている。また、近畿大学奈良病院まで行っていただけてありがたいと言う人は多いと思うが、他の交通機関との兼ね合いがあるということを最初から言われ

ていたのでなかなか悩ましいところだろうとは思いますが、今の送りのみの片道だけでもありがたいと思うが、おそらく病院に行くと大変疲れると思うので、帰りも検討していただけるとよいと思う。

委員長)

ご意見としていただく。

委員)

2、3質問がある。デマンド型乗合タクシーが令和6年4月1日から本運行する前に、運行車両の増車について現行2台から3台に増やすのか、あるいは、運行時間の変更は現行と全く変わらないのか、あるいは、近畿大学奈良病院をどうするのかということをお聞きしたい。

そもそも本運行に伴い、平群町内でしか運用できないという縛りがあるが、残るのか残らないのか。運行車両の増車を検討するということは大変ありがたいことであるが、乗合率が1.03というのは乗合をほとんどしていないということである。私も利用したことがあるが、受付の人はルートで乗合を考えているようには全く思わない。おそらくこの1.03というのは、3人が乗り、3人が同じ時間に同じところへ行くということで、これは乗合ではない。ルートを通って行く間の乗合ということとは全く考えられていない。

運行時間については、運行時間の延長は全く考えられていないということか。そもそも運行時間の延長をしてほしいという要望はないのか。高齢者は4時以降は動かないと考えているのか。また、変更案の中で、3台目は午前中に乗車している人が多いから午前中1台増車するということだが、実際にこのように決めた根拠を、利用する人の要望をどのように集めてその集計データに基づいてこの結論に至ったのかという説明をお聞きしたい。

デマンド型乗合タクシーについてアンケート調査を実施するということだが、アンケート調査の5ページ「現在、町内での利用の場合、1回あたり300円となっておりますが、町外の場合、1回あたりの利用料金はいくらがふさわしいと思われますか」という質問があるが、これは町外に出る人がいないのであればこのような質問はしないほうがよいのではないか。基本的に利用している方、乗合タクシーを利用した実績のある方の改善要望、意見をもう少し集めていただき、それを集計しデータ化したもので示していただきたい。

委員長)

ご意見といくつかご質問もいただいた。

事務局)

乗合率が1.03というのは本当に低いと考えている。周知が足りないためでもあると考えている。仮に来年の4月から近畿大学奈良病院に乗り入れをするようになれば、病院に午前中に通院する方の乗車もあると予想され、目的地が一緒になるので、乗合率も改善できるのではないかと考えている。周知については、乗合型のタクシーであるので、有効に周知していきたいと考えている。町内利用料金については、当初、開設するにあたり300円と設定しており、介護保険の保健福祉事業で補填させていただいている。現在の考えとしては、基本的には距離に関係なく一律300円、町外については他の公共交通の影響もあるので、少なくとも他の公共交通より高い金額での設定をしている。その他、ご意見をいただいた件については、実際にアンケートも実施するのでその点も踏まえるとともに、時間を延ばした場合などは介護保険料にも影響するので、その点も注視しながら検討していかなければならないと考えている。

委員)

よろしく願いしたい。

委員)

先ほど課題のところでは近畿大学奈良病院のことが出たが、西和医療センターも町外である。この料金や往復利用が可能なのか、今のところどのように考えているのか。

事務局)

今現在考えているのは、仮に西和医療センターまで進める場合はもう1台必要だと考えているが、介護保険の保健福祉事業で実施していることから介護保険料に大きく影響があるため、まずは近畿大学奈良病院を考えている状況である。

## 5 その他

- 次回の策定委員会は10月に開催を予定。